

令和3年 熱海土砂災害への中部地整の対応 (7/5 12:00 現在)

<主な活動状況>

■TEC-FORCE (括弧は現在の班数)

- 総括班(1): 現地調査班への情報支援、各班ロジ調整
- ドローン調査班(1): 豊橋班へ引継ぎ
- 砂防調査班(2): 監視カメラ設置立ち会い、源頭部調査、中流部の調査(ドローン)
- 建設機械班(1): 照明車の稼働
- リエゾン班(1): 静岡県庁、熱海市役所、熱海土木事務所で情報連絡
- 港湾調査班(1): 7/4 調査を完了し撤収

<中部地整の対応状況>

1. 中部地方整備局の体制

中部地方整備局 7月3日 14:00 非常体制(風水害)

2. TEC-FORCEの派遣状況 合計24名(7月5日9時時点)

TEC班名	隊員数(人)
総括班(本局)	4
ドローン調査班(本局、豊橋)	4
砂防調査班(多治見、越美、富士砂防)	8
港湾調査班(清水港湾)	2
建設機械班(本局)	1
リエゾン(本局、沼津、愛国)	5
合計	24

7月4日の活動状況

・現地総括班

土砂災害専門家の現地調査、内閣府現地調査に同行。監視カメラの設置場所確定

・ドローン調査班

被災現場の撮影(計3回)、国道135号の通行可能箇所の確認(1回)

・砂防調査班

土砂災害専門家の現地調査に同行

・建設機械班

照明車を現地に設置。17時以降、源頭部と国道135号の2箇所にて点灯、現地活動を支援。

・港湾調査班

調査完了し、撤収済

7月5日の活動予定

- ・ **現地総括班**

 - ドローンの撮影、照明車配備、砂防調査関係等各班との調整

- ・ **ドローン調査班**

 - 豊橋班へ引継ぎ

- ・ **砂防調査班**

 - 富士砂防班：堰堤上流部を調査実施

 - 多治見+越美班：監視カメラ設置立ち会い、源頭部調査

- ・ **建設機械班**

 - 被災箇所中流部の捜索活動支援のため、新たに照明車2台の設置調整を実施